

セキユラの風だより



2020年 6月 夏特別号

任国外旅行について！

西島 将 (Nishijima Tadashi)



梅雨の季節になり長雨が続きますが、お元気ですか？

今回は任国外旅行制度について紹介します。ボランティアは、毎年20日間任国外旅行が出来ます。私も、2月末の夏期講習後に休暇を頂き、10日間南米アルゼンチンに旅行しました。アルゼンチンでは、友人達とパタゴニア地域と首都ブエノスアイレスに行きました。スペイン語の発音が国ごとに異なるのが興味深かったです。

アルゼンチン旅行

パタゴニア地域は、アウトドアブランド(PATAGONIA)のモデルになった山フィッツロイがあります。私達も往復10時間かけ登り、絶景を見てきました。

また、世界自然遺産のペリト・モレノ氷河が有名です。氷河が崩落する瞬間を目の前で見ながら、アイゼンをつけての氷河トレッキング、最高の体験でした。

首都ブエノスアイレスには世界で1番危険なルハン動物園があります。私達もライオンや虎に直接触れ、檻の中でミルクや餌をあげてきました。



世界で2番目に美しい本屋 EL ATENEO

首都ブエノスアイレスには、世界で2番目に美しい本屋 EL ATENEO があります。劇場を改装したので、まるで映画の世界の様でした。NARUTO 等の日本の漫画も売っていました。

また、アルゼンチンでは、牛肉料理、ワインやビールが安く美味しいです。首都ブエノスアイレスのレストランでは、アルゼンチンで活躍する同期のシニアボランティアさん達と一緒に夜ご飯を食べ楽しい時間を過ごす事が出来ました。

最高なりフレッシュ休暇になりました。

